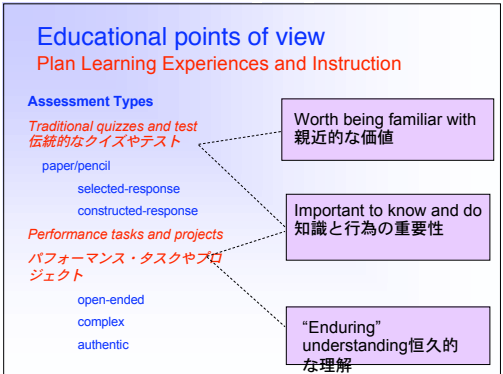
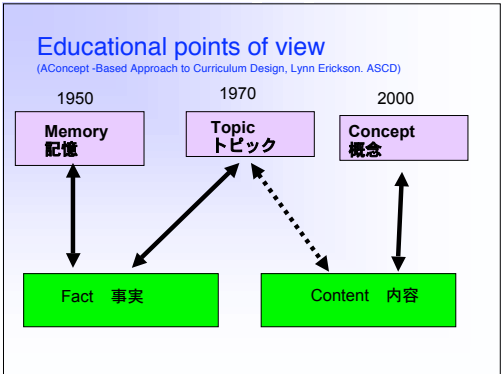


2005年3月26日 © ICG Workshop
 継承語日本語学習者に対する日本語文学教育：
 シェルター形式によるプレゼンテーションモード
 の有効活用
 Kazuo Tsuda, UNIS, New York

1. 教育の方向（記憶から概念化へ）
2. 内容重視（シェルター形式）/ 自律的学習者
3. 内容重視 / IB と 文学およびテキストの多様性
4. 内容重視 / ナショナル スタンダード・コミュニケーションの3モード
5. 内容重視：プロジェクトベース・インストラクション
6. 内容重視：マルチ・レベル インストラクション
7. 文学における読み、文学、演劇の構造など
8. プレゼンテーション モードと演劇化：
 1. スキット プレー タイプ プレゼンテーション
 2. パフォーマンス プレゼンテーション
 3. プレー アウト プレゼンテーション
 4. シナリオ プレゼンテーション
 5. ロール プレー タイプ プレゼンテーション
9. プロジェクトベースの ケース1

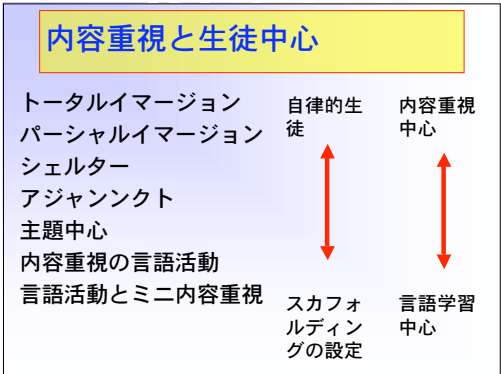


Educational points of view

(Understanding by Design Grant Wiggins and Jay McTighe, ASCD)

The Six Facts of Understanding

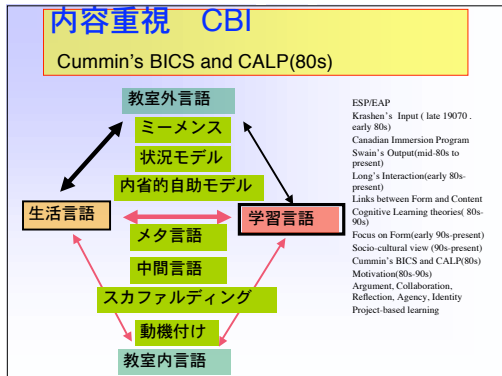
1. Explanation (説明)
2. Interpretation (解釈)
3. Application (応用)
4. Perspective (多角的視点)
5. Empathy (他者理解)
6. Self-knowledge (自己理解)



CBI-Content-Language continuum 内容重視と言語活動

トータルイマージョンは全ての授業が内容重視
 パーシャルイマージョンは時間帯の半分が内容重視
 シェルターは一人が内容の専門家であり言語の専門家となる
 アジャンクトは内容の専門家と言語の専門家の二人で授業を行う
 主題中心は内容の主題を決めてカリキュラムが組み
 れ言語活動もその範囲で統合される
 内容重視の言語活動は内容を重視したユニットを作るが、言語活動は重要な役割をになっている。
 言語活動とミニ内容重視は言語活動が中心で少し内容重視の活動を時々行う。

内容重視
 重視中心
 言語学習中心



・ I B 言語教育方針の歴史的背景とその内容
1989年以降のグローバルゼーション

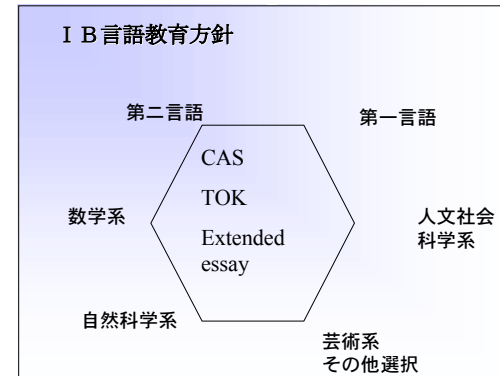
1997年 施行

先進国間でのグローバルな交通移動

アジア言語への獲得時間の時間差

アフリカ諸地域の言語多様化

A1 文学	A2 言語 文化/文学	B 言語 600/400	Ab Initio 168
----------	-------------------	--------------------	---------------------



・ I B 言語教育方針

日本語教育

継承語教育

文学教育

外国語教育

A1 文学	A2言語 文学&文化	B 言語 600/400 文学/言語	Ab Initio 168
----------	---------------	--------------------------	---------------------

I B 言語教育方針 Reading A2-B

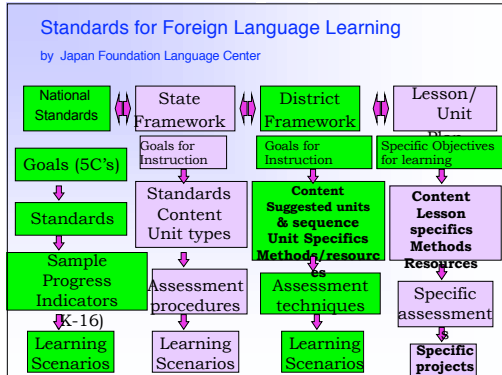
テキストのタイプは特殊な目的において各々違った目的をもっています。

Prescribed communication description	purposes factual evocative	Examples set of instructions travel brochure
narration	factual imaginative	news story short story
written interaction	informal formal	letter to family or friends business letter
spoken interaction tran	scribed reported factual	play -script interview report
explanation	argumentative controversial	proposal editorial
argument	balanced subjective	debate for or against review, biography
analysis and critique	objective promotional	academic analysis advertisement
exploration	poetic factual	poem diagram of scientific text
graphics	imaginative	cartoon

Standards for Foreign Language Learning
by National Standards for Foreign Language Education Project

- Communication コミュニケーション
- Cultures文化
- Connections学際
- Comparisons比較
- Communities社会

The Five C's of Foreign Language Study



世界とアメリカの 日本語中等教育 (コンテンツと問題解決型の教育)

過去において、教室の教授法は語彙の記憶や文法に焦点があっていた。スタンダードにおける外国語教育は外国語の教室の内容の定義はもっと広義になっている。学生は、会話のストラテジー、学習ストラテジー (例えば、問題解決能力)、クリティカル・シンキング、他学科のコンテンツ、言語システム、文化の知識、テクノロジーを習ったり、使ったりする機会が与えられなければならない。

対人的(会話のストラテジー、他学科)
 解釈(学習ストラテジー、他学科)
 価値(クリティカルシンキング)
 発表(学習ストラテジー)

実践(学習ストラテジー、他学科)
 産物(文化の知識)

Communication コミュニケーション
 Cultures 文化
 Connections 他学科との繋がり
 Comparisons 比較
 Communities 社会との繋がり

他学科との繋がり: コンテントベース、学習言語教育
 比較: 言語と文化との比較
 社会との繋がり: 国際交流や文化祭りや写真(IT)交換

現在の語学教育の中の文化教育の位置について、

by National Standards for Foreign Language Education Project

- The study of another language and culture enhances one's personal education in many ways. 他言語と他文化の勉強は個人の教育を色々に高める
- The study of another language enables students to understand a different culture on *its own terms*. 他言語の勉強は学生が他の文化をその言葉によって理解することができる

対人的 解釈 発表
 実践 価値 産物

- Communication コミュニケーション
- Cultures 文化
- Connections 他学科との繋がり
- Comparisons 比較
- Communities 社会との繋がり

目標1 コミュニケーション(Communication): 日本語でコミュニケーションを行う

スタンダード1.1対話を通して他の人との情報やり取り、感情の表出、意見交換をする
 スタンダード1.2様々な話題について日本語で書かれた物や話し言葉を理解し解釈する
 スタンダード1.3様々な話題について自分で考え、意見、及び情報を口頭で、或いは書いて発表する

目標2 文化(Cultures), 日本の文化を理解し、知識を獲得する

スタンダード2.1日本人の習慣、慣習(practices)を学び、その背景(perspectives)について理解する
 スタンダード2.2日本文化における文化的所産・産物(products)とその背景(perspectives)について理解する

目標3 コネクション(Connections)他の教科内容に関連づけ、情報を得る

スタンダード3.1日本語を用いて他の教科分野の知識を獲得・補強する
 スタンダード3.2日本語及び日本文化を通して情報を得、特有な視点を認識する。

目標4 比較(Comparisons)日本語と母語の比較により言語と文化への洞察力をやしなう

スタンダード4.1日本語と母語を比較し、言語に関する理解を深める
 スタンダード4.2日本文化と自己の文化を比較し、文化の概念を把握する。

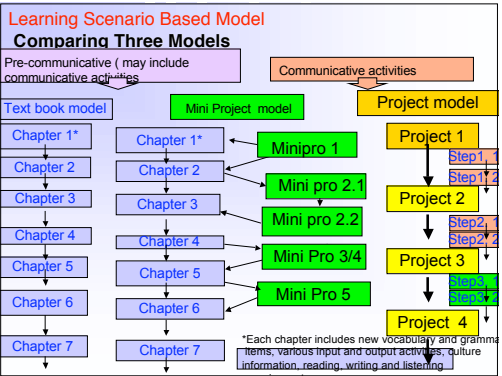
目標5 コミュニティ(Communities)日本語と母語の比較により多文化・多言語社会に参加する

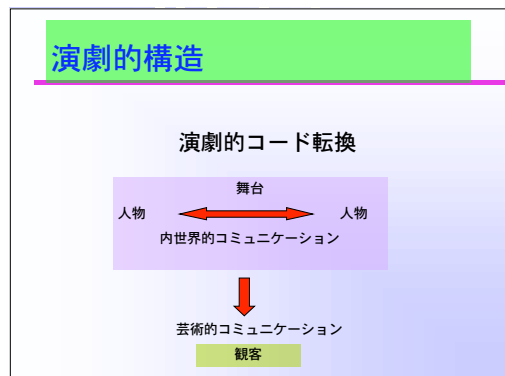
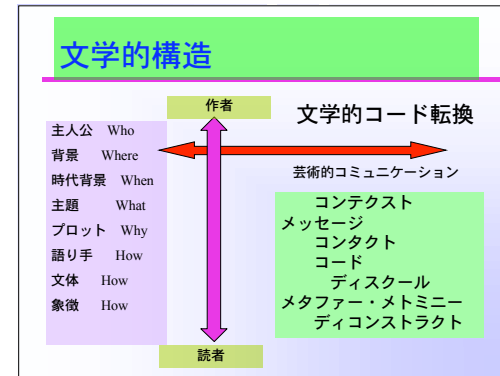
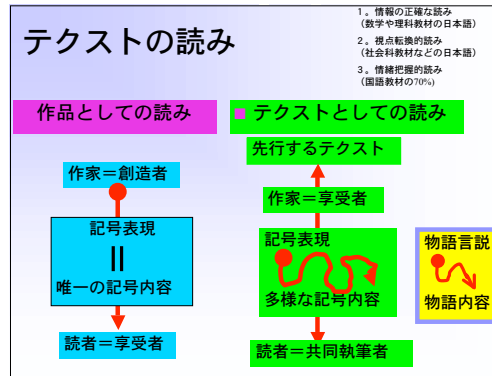
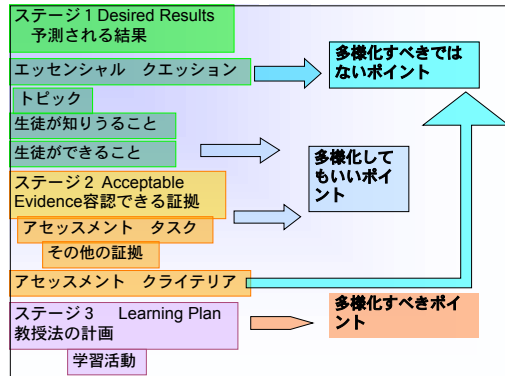
スタンダード5.1学んだ日本語を学校内外で使用する
 スタンダード5.2日本人を豊かにするために、日本語を使用し、生涯教育の一環として学習の継続を心がける

JAA ワークショップ

教育の挑戦

- 内容重視の教育やプロジェクト化などの学習方法の開発
 リアルワールドの教育実践/母語学科教育での実践
 意味がある教育実践/学問領域の追究への接近
 探究型のリサーチ/発表へのプレゼンテーション
 総合型の教育実践/習々の発達に対応した教育実践
- 自律学習
 学習者の必要性にあう/学習者の多様性にあう/動機を向上させられる学習スキルや
 永年学習スキルの配慮できる/クリティカルスキルを与えられる/前向きな自己評価
 や自己実現を高められる/学習者に意味のある満足を与えられる/自己の行動力を高めることを促すことができる
- スカフォolding学習方法の開発
 人材的ネットワークと地域 伝統継承ベースのネットワークグループ
 ワークとリサーチと作品解釈
 グループワークとオーラルプレゼンテーション及劇公演
 プレゼンテーション及ディベートと質疑の関係と観客
 テクストの自動化/基礎語彙などの獲得のルーティン化





- ### プレゼンテーションモードとドラマ形式
- スキット プレー タイプ プレゼンテーション
 - パフォーマンス プレゼンテーション
 - プレー アウト プレゼンテーション
 - シナリオ プレゼンテーション
 - ロール プレー タイプ プレゼンテーション

- ### 教育の挑戦
- ktsuda@unis.org
1. 内容重視の教育やプロジェクト化などの学習方法の開発
リアルワールドの教育実践/母語学科教育での実践
意味がある教育実践/学問領域の追究への接近
探究型のリサーチ/聴衆へのプレゼンテーション
マルチレベルとマルチエイジのソーニングの活用
総合型の教育実践/個々の発達に対応した教育実践
 2. 自律学習
学習者の必要性にあう
学習者の多様性にあう/動機を向上させられる
学習スキルや永年学習スキルの配慮できる
クリティカルなスキルを与えられる
前向きな自己評価や自己実現を高められる
学習者に意味のある満足を与えられる
自己の行動力を高めることを促すことができる

2009年3月28日 @ ICU workshop
 継承語日本語学習者に対する日本語文学教育：

- シェルター形式によるプレゼンテーションモードの有効活用の実例
 Kazuo Tsuda, UNIS, New York

問題解決としての試み

- 内容重視：シェルターとしての
 内容学習＋言語学習
 共通のテーマを通して、**背景知識を発展させながら内容を多角的に学習し理解する**
- Scaffolding：
 内容学習に対するScaffolding
 言語学習に対するScaffolding

背景：国連国際学校（UNIS） 日本語中学、高校生クラス

- 学年別正規授業でもあり(継承語学習者＋外国語学習者)、
 ＋異学年のアフタースクールプログラム(継承語学習者のみ)
- 多様な言語レベル、年齢、文化背景の複式クラス
家庭： 国際結婚、永住、帰国予定
 学年： 継承語中学1年～高校3年生 (18人)
 外国語学習者中学1年～高校3年生 (12人)
- UNIS：学習希望者を全員受け入れる
- 補習校：中学校入学時点で補習校の小学校を卒業してた生徒のみを受け入れる

複式クラスが抱える問題点

- 従来の同学年内での言語レベル差に対応するのみでなく、異学年を含む複式クラスでは、高い認知力を満足させる内容も同時に必要となる
 - ・同学年 ⇒言語レベルに対応
 - ・異学年 ⇒言語レベル＋認知レベルに対応
 ⇒従来の国語教科書・日本語の教科書で読み書きを伸ばすことは **むずかしい**
- (JFLもJHLも) ナショナルスタンダードのラーニングシナリオの活用
- 継承語として日本語を勉強しなければならず、学習することに反発を感じているため、学習内容が学習者を引き付けるのが必要

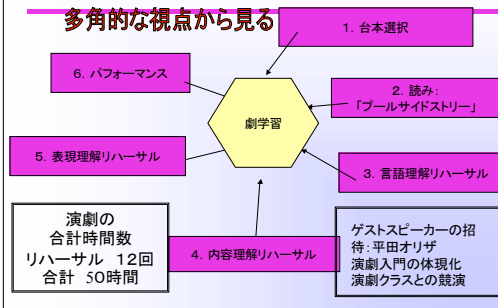
生徒の言語力 1

グループ	グループ1 新規外国語学習者	グループ2 中級外国語学習者	グループ3 継承語学習者	グループ4 継承語学習者	グループ5 年少期滞日学習者・継承語学習者	グループ6 海外子女
生活言語習得 (BICS)	されていない	されていない	されている	されている	されている	されている
学年幅	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年
IB	SB	HB	HB-SA2	HB-HA2	SA2-HA2-HA1-SAI	HA1

生徒の言語力 2

グループ	グループ1 新規外国語学習者	グループ2 中級外国語学習者	グループ3 継承語学習者	グループ4 継承語学習者	グループ5 年少期滞日学習者・継承語学習者	グループ6 海外子女
学習言語レベル (CALP)	ひらがなカタカナ (カ-ド)	漢字約80-250字	漢字約80-600字	漢字約150-900字	漢字約800-1350字	漢字約800-2000字
読み		読み：単文レベルから段落	読み：段落から短編小説	読み：短編小説から多読	読み：多読と表現分析	読み：多読と文学分析
書き		書き：100字から500字	書き：100字から800字	書き：課題について原稿用紙3-7枚	書き：課題について原稿用紙5-7枚	書き：課題について原稿用紙7-20枚
IB	SB	HB	SB-SA2	SB-HA2	SA2-HA1	SA1-HA1

内容重視：プールサイドストーリー



台本選択①：

1. 今年のパフォーマンスについて考ええること。
2. 台本さがし。(
3. タイトルから台本の内容を予測する。
4. 台本を読む。(他の言語でもよい)
5. 話し合う。
6. 教師もアイデアをだす。

②. 多様なレベルの読み教材： 「プールサイドストーリー」

4種類のテキスト

1. 台本
2. 台本のリライト（振り仮名化）
3. 英語版も使えるときは使う。
4. 台本を字幕にするために翻訳する

グループ	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6
生活言語習得 (BICS)	されていない 初級の中	されていない 初級の高	されている 聴解型 バイリンガル	されている 口頭型バイリンガル	されている 読解・書記型バイリンガル	されている 学年相応の読み書きレベル
学年編	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年	7年～12年
学習言語レベル (CALP)	ひらがなカタカナ (カド)	漢字約80～250字 読み: 単文レベルから段落 書き: 100字から500字	漢字約80～250字 読み: 段落から短編小説 書き: 100字から800字	漢字約150～750字 読み: 短編小説から多読 書き: 課題について原稿用紙3～7枚	漢字約800～1350字 読み: 多読と表現分析 書き: 課題について原稿用紙5～7枚	漢字約800～2000字 読み: 多読と文学分析 書き: 課題について原稿用紙7～20枚
テキスト	春一番	銀河/台本 ひらがな台本	台本 ひらがな台本	台本 ひらがな台本	台本 ひらがな台本	台本
読み及び練習の方法	リサーチ英語による討論発表	リサーチ討論/発表 個人的速次読み	グループ読み 個人的速次読み	グループ読み 個人的速次読み	グループ読み 討論(日英)	インディペンデント・リーディング

読み③：言語理解のリハーサル

1. キャスティングの設定。
2. それぞれの人物像を表している言葉を理解する。どんな人？
3. 会話の場面の理解を考えさせる。
4. 新出漢字＆言葉を勉強する。
5. アクセント・スピードの練習をする。
6. 全体の台本のテーマを考える。

ゲストアーティストの招待

本の世界から演劇世界へ

1. 平田オリザ氏・鈴木忠志氏の論評の読解
2. 平田オリザのクラス内ワークショップ
3. 平田オリザ氏の講演ワークショップ
4. 演劇グループとの競演
『サラリーマン忠臣蔵』原文、英訳、
5. ダンス指導：「カリオグラフィー」指導

読み④：内容理解のリハーサル

1. 教室活動での動作つきの読み
2. 暗記の練習
3. 場面でのグループ動作
4. 個人の暗記を含めた読みによるリハーサル
5. 他の台本との比較；ロメオとジュリエット/ウエストサイドストーリー；キャラクター分析に使う。

読み⑤：表現理解のリハーサル

1. 場面の具体的解釈と生徒討論
 2. 生徒による場面の流れて立ち位置稽古
- 演ずることを通して言葉、動作を解釈する。
 - 他人の視点からものを見る。
 - 自分の動き、使われる状況、タイミングを体感する。
 - 登場人物の気持ちを理解する。

読み⑤：リハーサル

1. 演劇の始まり
2. 場面の演劇化
3. 表現のスタイライズ
4. 全体の流れの効果

演劇の効果による教室の支援

1. 生徒間のプレッシャーと支援。
2. 高学年生徒のリーダーシップ。
3. クラスの達成感が強まる。
4. 上級生の演技による下級生への刺激。
5. 保護者の積極的な介入。
 1. 専門家の介入。
 2. 家庭での言語支援。

2007-2008 UNIS日本語クラス 1927年-2007年：日本の帝国主義化から現在まで

- 9月7日 映画：『羅生門』1950イントロ：グループワーク 『羅生門』芥川龍之介1915 1
- 9月14日 ワークアウトプレゼンテーションの準備 2
- 9月21日 映画：『隠れ河津の娘』1980グループプレゼンテーションの準備 『隠れ河津の娘』1924-1933 2
- 9月28日 ワークアウトプレゼンテーションの準備
- 10月5日 グループB プレアウトプレゼンテーション 『野火』大岡昇平1952 4
- 10月12日 グループC プレアウトプレゼンテーション 『金閣寺』三島由紀夫1956 5
- 10月19日 グループAプレアウトプレゼンテーション 『隠れ河津の娘』京沢賢治1934 6
- 10月26日 グループBCDロールプレイングプレゼンテーション 『幸福楽小町』三島由紀夫1956 7
- 11月2日 グループACロールプレイングプレゼンテーション 『羅生門』横内謙介1889 8
- 11月9日 Parent faculty conference
- 11月16日 映画：『野火』1959グループ プレゼンテーションの 準備 9
- 11月24日 Thanksgiving
- 11月30日 グループABロールプレイングプレゼンテーション 『賢治先生』成井豊1999 10
- 12月7日 まとめと漢字テスト ポスターセッション準備
- 12月14日 Exam
- 1月11日 映画：『金閣寺』1985 ポスターセッション準備
- 1月18日 ポスターセッション T4-T3
- 1月25日 ポスターセッション T2-T1/AM-M3
- 漢字のテストは毎週あります。
- ハンドアウトは20枚作ってください。
- ハンドアウトは水曜日まで提出してください。コピーはします。
- 12月11日まで授業のペーパーは提出。
- 期末のペーパーは読解問題(教員以上(2401字以上))タイプしてください。
- 期末の試験は後日日程や内容を発表します。
- グループ プレアウトプレゼンテーションではユニークなものを作ってください。
- グループ ロールプレイングのスキリフトは提出してください
- ジャッジになるグループは評議の方法、テストの準備、ロールプレーの詳細なアセスメントを一週前までに全員に報告。

2008-2009 UNIS日本語クラス 現代文学と文化課題(経済、環境、人種、食料、平和)

- 9月5日 『お化けりんご』 読み
- 9月12日 グループ分け、『お化けりんご』 読み
- 9月19日 『お化けりんご』 読み
- 9月26日 『お化けりんご』 読み
- 10月3日 『お化けりんご』 グループ練習、よさこい。
- 10月10日 『お化けりんご』 プレゼン よさこい
- 10月17日 よさこい、「『環境問題』：『神様』川上宏美
- 人種(編訳)問題：『どう書いても嫌な奴は嫌な奴』 町田康
- 10月24日 『環境問題と人種(編訳)問題』のグループ発表の準備
- 10月31日 ハローウィーン
- 11月7日 父母会
- 11月14日 グループプレゼン 『環境問題/人種(編訳)問題』と個人の発表の準備
- 11月21日 平和問題：広島DVD
- 11月28日 サンクスギビング
- 12月5日 漢字テストと個人の発表の準備
- 12月12日 読解問題
- 1月9日 ポスターセッションの準備と発表
- 1月16日 ポスターセッションの発表
- 1月23日 ポスターセッションの発表
- 1月30日 ポスターセッションの発表
- 2月6日 『食糧問題』
- 2月13日 Staff O E P
- 2月20日 『食糧問題』
- 2月27日 『食糧問題』のグループ発表
- 3月6日 UNIS-UN

2008-2009 UNIS日本語クラス ktsuda@unis.org 現代文学と文化課題(経済、環境、人種、食料、平和)

- 3月13日 劇練習
- 3月20日 父母会
- 3月23日 春祭り
- 4月10日 劇練習
- 4月17日 劇練習
- 4月24日 劇練習
- 5月1日 劇練習
- 5月8日 劇練習
- 5月10日 劇練習(日曜日練習)
- 5月15日 劇練習
- 5月16日 劇練習(土曜日練習)
- 5月17日 劇練習(日曜日練習) ドレスリハーサル
- 5月21日 前夜リハーサル(木曜日)
- 5月22日 日本映画(金曜日)
- 漢字のテストは毎週あります。ハンドアウトは20枚作ってください。ハンドアウトは水曜日まで提出してください。コピーはします。12月5日までに期末のペーパーは提出。期末のペーパーは読解問題7枚以上(2401字以上)タイプしてください。期末の試験は後日日程や内容を発表します。
- グループ プレアウトプレゼンテーションではユニークなものを作ってください
- グループ グループ プレゼンテーションのスキリフトは提出してください。
- 評価の表は1Bの表に役います。A: Quality of Idea, B: Presentation, C: Language
- Culture, Language and Culture, Media and Culture, Future Issues, Global Issues, Social Issues
- UNIS-UN: World food crisis and hunger